

近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所
資 料 配 付

配布日時	平成19年 8月29日 13時00分
------	-----------------------

件 名	「紀の川大橋橋梁拡幅工事周辺における地下水噴出に関する対策検討会」(第3回)の開催結果について
-----	---

概 要	○国道26号紀の川大橋橋梁拡幅工事周辺の井戸より水、空気が噴出した事象について、国土交通省近畿地方整備局和歌山河川国道事務所は、本日午前「紀の川大橋橋梁拡幅工事周辺における地下水噴出に関する対策検討会」(第3回)を開催しましたので、概要についてお知らせします。
-----	--

取り扱い	_____
------	-------

配布場所	和歌山県政記者クラブ 和歌山県地方新聞記者クラブ 和歌山県政放送記者クラブ
------	---

問合せ先	国土交通省 近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所 副所長 木村 是一 事業対策官 大下 正和 TEL 073-424-2471(代表)[内線205、208]
------	---

「紀の川大橋橋梁拡幅工事周辺における 地下水噴出に関する対策検討会(第3回)」の概要

1. 日 時:平成19年8月29日(水)

10:30~12:00 検討会

場 所)ホテルアバローム紀の国

2階 鳳凰の間「東」

和歌山市港通丁北2-1-2

Tel. 073 - 436 - 1200

2. 出席者:

委員会名簿参照

3. 議 事:

1. モニタリングの結果
2. 被害家屋噴出井戸の対策
3. その他

4. 審議概要:

1. モニタリングの結果

○地下水調査結果

- ・継続観測を行っている観測井戸8箇所(井戸)の井戸水位、酸素濃度、塩分濃度は、第2回検討会以降においても大きな変化は認められないことが確認された。

○塩分濃度の実態把握

- ・観測井戸近傍の「塩分イオン濃度」の測定結果を見ると、噴出前後で大きな変化が見られないことが確認された。
- ・土中の残留塩分濃度を測定、評価した結果から、地層の深さ毎に塩分濃度が変化することが判明した。

○河川堤防の変位観測結果

- ・紀の川堤防の変位観測調査結果を見ると、変位量に累積性や指向性が認められないことから、変位がないことが確認された。

2. 被害家屋噴出井戸の対策

- ・被害家屋においては、床下の古井戸から空気と水が噴出したことにより、井戸直下に極めて緩い部分が確認されていることから、地盤の強化を図る必要があると判断された。
- ・地盤の緩い部分を強化する工法として、「薬液注入工法」による地盤改良を行うこととなった。

3. その他

- ・今後のモニタリング、安全対策について意見交換を行った。
- ・こうした意見をもとに今後、検討を行うこととなった。

「紀の川大橋橋梁拡幅工事周辺における
地下水噴出に関する対策検討会」(第3回)の名簿

委員名簿

委員	氏名	所属・専攻等
委員長	おおにし ゆうぞう 大西 有三	京都大学大学院工学研究科 都市環境工学専攻 ジオフロント環境工学 教授
委員	にしがき まこと 西垣 誠	岡山大学大学院環境学研究科 資源環境学専攻 廃棄物マネジメント学（地圏環境評価学） 教授
委員	こはし ひでとし 小橋 秀俊	独立行政法人土木研究所 材料地盤研究グループ（土質） 上席研究員
委員	おおした たけし 大下 武志	独立行政法人土木研究所 技術推進本部（施工技術） 主席研究員
委員	くわじま ひでつぐ 桑島 偉倫	国土交通省和歌山河川国道事務所 事務所長